

●企画 A 篇 30 秒概要

「鴻臚館」は、画数が多く、意味連想では覚えにくい名称です。

書き順や部首、組み合わせといった“構造”として理解しなければ定着しない言葉であるため、漢字の成り立ちを可視化した内容にしています。

さらに覚えやすくユーモラスなオリジナルソングと組み合わせることで、視覚と聴覚の両面から記憶に残る体験を促しており、子どもから親世代、高齢者まで、一つの表現で三世代の興味を喚起させることを狙います。

●企画 B 篇 30 秒概要

クイズ形式の問いかけにより、視聴者を「聞き手」ではなく参加者へと転換し、立ち止まって考え、体験させる内容としています。

実写表現と時代考証を踏まえたリアリティのある映像によって当時の風景を強くイメージさせ、往時の鴻臚館がどんな施設だったのかを想起させながら、幅広い世代へ文化的・歴史的価値の理解を促します。